

# 小林裕児展「森の中」(版画&ドローイング)

2022年1月18日(火)～30日(日) 休廊:24日(月)

1月 17:00～小林裕児によるギャラリートーク



「馬の上遊戯」コラグラフ 35×40cm



「雨」エッチング+水彩 8×15cm



「傘を持つ男」エッチング+水彩 13×8cm

**B-gallery**

www.Bgallery.info 開廊14:00～18:00

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-31-6 Tel&Fax 03-3989-8608 email@Bgallery.info

自由学園明日館(20世紀三大建築家の一人フランク・ロイド・ライトの設計した重要文化財)西隣

重要文化財フランク・ロイド・ライト設計自由学園明日館の西隣にB-galleryを開廊して早14年となりました。安井賞作家・小林裕児の展覧会は3回目となります。過去2回はアメリカ人作家リタ・ヤニーとの二人展でしたが、今回は単独で版画とドローイング展となります。当画廊は、東京3回、シンガポール2回、ソウル、香港、台北、ニューヨーク、上海、ドバイ、ルーブル美術館、ロンドン、バンコクと14回のアートフェアに出展しましたが、今年22日～12月21日までインドネシア・ジャカルタのART MOMENTS JAKARTA 2021にも出展し、小林も2点出品しています。1月 17:00～は作家を囲むパーティーと小林裕児によるギャラリートークを開く予定です。ぜひご高覧賜りますよう、また貴媒体にて記事としてご採用いただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

(B-gallery代表:長はるこ)

我が家はここ数年、周りの木々が大きく育ち、すっぽり森にのみこまれてしまいました。目の前のため池には、一匹の大きな黄金色の鯉が住み着き時折悠然と姿をあらわし、わずかに空いた狭い空には鷹が舞う姿も見かけます。そんな中、晴耕雨読の手を動かし絵を描き版画に取り組む暮らしのルーティンが私に様々な妄想を生じさせます。とりわけこの2年に及ぶ自粛期間は身の回りのちょっとした変化にも手の中の世界が過剰に反応するのを感じます。それもまた楽しみと思いつつ営々として制作に取り組んでいます。

(小林裕児)



## ●小林裕児

1948年東京生まれ、東京藝術大学油画科大学院修了、

96年「夢酔」で第39回安井賞を受賞。

現在、ギャラリー椿を中心に国内外で多数の個展を開催、

北京ビエンナーレ、ピョンチャンビエンナーレ他、グループ展に参加するほか、

様々なライブパフォーマンスでは、観客とともにある美術の新しい楽しみ方を国内外の音楽家、ダンサー、俳優達と展開中。

一般社団法人春陽会会員

